

下林素光  
板題「春夏秋冬屏風」  
明治・八(一八八五年十月六日生)~昭和一五年(一九四〇)年八月二十四日没  
明治四三(一九一〇)年 東京美術学校(現東京芸術大学)卒業  
熊本県の考古学、歴史、美術の学術研究開拓者  
清々堂勲務、尚絅高等女学校講師兼任



学校法人 尚絅学園 広報誌  
SHOKEI EDUCATIONAL INSTITUTION  
PUBLIC INFORMATION

# 基礎

ISHIZUE

2006.Autumn vol.07



尚絅大学 文化言語学部のめざすもの

# 美しい日本の女性 「ことば」と「たしなみ」から



現代の日本からは、長い歴史を通じて育まれてきた美しい日本語と、先人たちの独特の美意識や生活の知恵から生まれた素晴らしい文化が、急速に失われつつあるようです。

利益追求効率優先の競争社会にあって、日本人のものの考え方にも反映し、その価値観や人生観が浅薄になり、常軌を逸した事件が相次ぐ傾向にあります。それはひいては『日本人の心』を失うことに等しいといえるのかもしれません。そこで、私たちは心に繋がる言葉と文化をきちんと見直すべきだと考えているのです。特に、家庭にあって女性が子供に語りかける「ことば」の大切さを再認識する必要があると思います。

今春、三十一年目を迎えた「文学部」は、「文化言語学部」として、新しい目標を掲げ、再出発することになりました。

明治二十一年の創立以来、「心の教育と生活の素

養」を教育の中心に据えてきた本学は、女子学生の「心」を如実に映し出す「ことば（言語）」と「たしなみ（文化）」を根底から見直し、社会に歓迎され二十一世

（文化）」を根底から見直し、社会に歓迎され二十一世

紀にふさわしい、よき日本人・よき地球市民として修得すべき「言語」と「文化」を基礎とする学問に、専門的研究を積み重ねます。

そこで、①日本語・日本文化を正しく深く理解し、グローバルに発信できる論理的思考力と技術の習得、②美しい日本語を自在に駆使できる能力の養成、③「日本語」と「日本文化」を正しく理解するための東アジア（主に中国・韓国）を中心の歴史的・比較文化的学習、④国際人として英語圏を中心とする欧米文化の理解と英語運用能力の修得の四点を共通基礎課題とし、その上に日本コース・書道コース・米英コース及び英語コミュニケーションコースの専門的知識と技能の習得を目指すことに致しました。

日本人の美しい心を映し出す「ことば」と「たしなみ」を身につけた女性には、おのずと高い品格が備わり、必ずや社会で活躍し、歓迎される人材となることでしょう。

今回、私たちは、これから女性が学ぶべきこと、身につけるべきことについてじっくりと考えてみると、

にしました。

## 礎 いしづえ | vol.07 Contents

卷頭特集

尚絅大学 文化言語学部のめざすもの

美しい日本の女性

「ことば」と「たしなみ」から

平成18年度 尚絅公開講座

10

国際交流

11

【尚絅学園史】二つの「尚絅」の額（前）

12

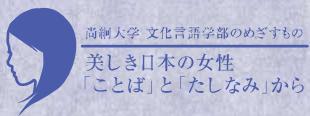
平成17年度 決算報告

13

平成19年度選考日程のお知らせ

17

# 知性と人間性を育むことばと文化



尚納大学 文化言語学部のめざすもの  
美しき日本の女性  
「ことば」と「たしなみ」から

中川 韓国での言葉遣いの基盤には儒教の教えがあります。しかし、儒教の教えが低下し、インターネットで遊び感覚で使われる省略言葉などが普及し、日本と同じように、若者を中心に言葉の乱れが顕著です。それに危機感を覚える人も多く、最近では、就職試験に言葉遣いの試験を取り入れる企業も増えてきていると聞いています。

和田 中国では、台湾経由で日本の若者



キャンパスの主役は私たち

言葉が輸入されていますし、日本などの海外のアニメやゲームなどが人気を集めていますが、その結果、言葉の乱れも多くなっています。しかし、敬語の区別を分ける単語の層があつく、丁寧な言いまわしもたくさんあります。「今日は」は例えば、親しい人には「ハイ」目上の人には「Hei-Hei」と使い分けられます。話す相手によって言葉を使い分ける能力や論理的発表力は、「アカデミックライティング」「スピーチ」「プレゼンテーション」「ディベート」などの授業で、小学一年生から大学まで一貫した話し言葉の教育によつて培われています。これは、言葉の訓練と共に、自分自身の考え方を訓練し、自己を確立す

う人たちも多くなっています。そのような中で、若者たちが社会へ旅立つ素地を作るために大学の役割として、尚納大学が大切にしているのが、言葉や文化などを学ぶ力があります。正しい日本語を習得することはもちろん、英語や中国語、韓国語を学ぶことを通じて、あらためて日本語、日本文化、そして自分自身の本質を見直すことでも、その目的のひとつだと考えていました。

そこで、言葉の教育に携わる文化言語学部の先生方に、今の若者言葉に対する印象や、尚納太宰が目指すべき日本語教育のあり方を話し合っていただきました。

岩元 最近の日本語ブームの背景には、おかしな日本語や国語力の低下が叫ばれたり、カタカナ語の氾濫が目立ち、もう一度、美しい日本語を見直そうという動きがあるよう思います。よく耳にする若者言葉と言えば、ウザイ、キモイ、チヨー〇〇などのように略語ですべてを表現してしまうため、ボキャブラリーも貧乏、若者言葉はいつの時代にもあるため、否



座談会「知性と人間性を育むことばと文化」



キャンパスの春

「声に出して読みたい日本語」「国家の品格」など、日本語や日本文化を見直す本が、次々とベストセラーになります。その反面、若者たちの間では、言葉の乱れが目立ち、日本の伝統的な文化を知らないと言

「声に出して読みたい日本語」「国家の品格」など、日本語や日本文化を見直す本が、次々とベストセラーになります。その反面、若者たちの間では、言葉の乱れが目立ち、日本の伝統的な文化を知らないと言



う人たちも多くなっています。そのような中で、若者たちが社会へ旅立つ素地を作るために大学の役割として、尚納大学が大切にしているのが、言葉や文化などを学ぶ力があります。正しい日本語を習得することはもちろん、英語や中国語、韓国語を学ぶことを通じて、あらためて日本語、日本文化、そして自分自身の本質を見直すことでも、その目的のひとつだと考えていました。

そこで、言葉の教育に携わる文化言語学部の先生方に、今の若者言葉に対する印象や、尚納太宰が目指すべき日本語教育のあり方を話し合っていただきました。



「話し方論」の授業風景、発声の指導

# 座談会

## 母親によって行われてきた 家庭での言葉と文化の教育

國津 日本語の乱れは、日本文化の継承が断絶したからとも言われていますが、なぜ、こんな現状になつたのでしょうか。

中村 気候や地理的条件また宗教によつて各国の生活様式は異なりますが、その文化は生活の中に息づいています。

かゝつての日本では、母親が伝統的な生活や正しい言葉遣いを、家庭の中で子どもたちに教えていました。特に日本の生活文化は女性によって継承されてきました。

つまり、花嫁修業の習い事として、料理・お茶・お花・裁縫・しつけなどが子供の時から厳しく訓練されました。

しかし、女性の社会進出や家庭構造の変化で、その継承が消えかかっています。言葉遣いはもちろんですが、日本文化の素晴らしさを学ぶ機会を、どうすれば取り戻せるかは大きな国民的課題です。

中川 日本語で変化を感じることは、家庭

の中で敬語が使わなくなつたこと。先ほど、韓国では儒教教育が低下したと言いましたが、やはり韓国人の精神の根本には儒教が大きく存在しています。親や目上の人たちを敬う儒教の価値観を体得しないと、韓国語の習得にはならないほどです。

和田 中国も自國の文化に誇りを持ち、大切にしています。学生も労働者も、足しげく書店や書店に通い、漢詩などの古い文獻から多くを学んでいます。ここ数年、ビデオツールの一つとして日本語を習う中国人が増えていますが、言葉を理解しても、日本人や日本文化を理解しているとは限りません。文化の違いが原因で、仕事で壁にぶつかることも多いようなので、言葉と文化は、一緒に学ぶべきですね。

岩元 岩元さんのお話を聞いていると、各国共通して言えるのは、文化と言葉は表裏一体、両輪となつて発展しているということ。言葉は文化の結晶なのだとつくづく感じます。ところで、日本では、日本語教育||国語では、話し方の教育はなされ

てきませんでした。尚納大学で、今年度から正規の授業として「話方論」「アナウンス実践論」が取り入れられたことは、学生たちを社会へ送り出す大学としては意味のあることです。

國津 尚納大学の文化言語学部としては、今後どのような取り組みが必要でしょうか。

中川 海外留学などによつて、日本文化と日本語を外から見てみると、自國の文化と言語を見直すきっかけになります。

和田 中国の歴史や文化を学びながら、がたくさんあります。そのような体验ができるのも、自由に時間が使える大学時代ならではだと思います。

岩元 中国を知ることも必要です。幸いなことに、日本と中国の間には、漢字とい



中村 幸士郎  
昭和42年、神戸大学文学専攻科英米文学修了。文部省在外研究員としてケンブリッジ大学、文科省短期在外研究员としてバーンigham大学大学院に留学。平成18年、山口大学を卒後、4月より尚納大学文化言語学部文化言語学科長として着任。



中川 明夫  
昭和50年、中央大学文学部国文学科卒業。平成6年よりリバウル大学松大学院納部国語教育科修了(韓国語教育)、平成18年までリバウル保育大学報光日本語道場研究員として講師を務めた後、平成18年4月より尚納大学文化言語学部文化言語学科助教授として着任。

岩元 尚納学園は中学から大学まで一貫しての先生方がおらず、日本文化を授業の中に取り入れているのも、女子校だからこそできるメリットです。そのようなカリキュラムによって、品格ある日本語と日本文化を学んで欲しいですね。

國津 尚納学園には多彩な先生方がおらず、甲骨文がおらず、日本文化を体験できる機会はごくわずかです。大學生で教わる「知識」を、生活に生かせる「知恵」として身に付けるためにも、新しい研修の場を設けて広げてみてはどうでしょうか。海外旅行に行く人は多くても、ホーミングアシスタントやヨーロッパなどの国々にも、短期研修として広げてみてはどうでしょうか。

岩元 尚納学園は中学から大学まで一貫しての先生方がおらず、日本文化を授業の中に取り入れているのも、女子校だからこそできるメリットです。そのようなカリキュラムによって、品格ある日本語と日本文化を学んで欲しいですね。

## コラム 象形文字の変遷

①甲骨文	-----	川	-----	水	-----	天	-----	火	-----	火	-----	火
②篆文	-----	川	-----	水	-----	天	-----	火	-----	火	-----	火
③楷書	-----	川	-----	水	-----	天	-----	火	-----	火	-----	火
④行書	-----	川	-----	水	-----	天	-----	火	-----	火	-----	火
⑤草書	-----	フ										
⑥平仮名	-----	フ										

1 の甲骨文の両脇の2本の線が岸を、中の点が水を表します。

両岸の間を水が流れている様子です。

2 の篆文では、水の点が1本の線で表現されています。

3 の楷書から段々繋げ書きされることで平仮名の「フ」になります。

①の甲骨文は人が手や足を大きく開いて立った姿です。

特に頭の部分が強調されています。

2 の篆文では、頭の形が1本の線となり、省略形となっています。

4 の行書から③の草書の間に崩す上でのかなりの変化が見られます。

①の甲骨文は女の人方が手を前に重ねて跪いた形です。

2 の篆文は書き易くするために左に90°回転させた形が

3 の楷書の形につながっています。それから繋げ書きされ平仮名の「フ」になります。

コーディネーター  
國津 英愛  
尚納学園常務理事



和田 英穂  
平成9年北京大學歴史学部中國史専攻卒業。平成16年3月愛知県大学院中国研究科博士後期課程修了。博士(中国研究)。その後、平成17年2月より1年間、台湾師範大学歴史研究所に交換留学。平成18年4月より尚納大学文化言語学部文化言語学科講師として着任。

海外の生活を体験し  
日本語の素晴らしさを再発見

ら正規の授業として「話方論」「アナウンス実践論」が取り入れられたことは、学生たちを社会へ送り出す大学としては意味のあることです。

國津 尚納大学の文化言語学部としては、今後どのような取り組みが必要でしょうか。

中川 海外留学などによつて、日本文化と日本語を外から見てみると、自國の文化と言語を見直すきっかけになります。

和田 中国の歴史や文化を学びながら、がたくさんあります。そのような体验ができるのも、自由に時間が使える大学時代ならではだと思います。

岩元 中国を知ることも必要です。幸いなことに、日本と中国の間には、漢字とい

# 異文化体験が自分を変える。

文化言語学部文化言語学科長

教授 中村 幸士郎

## モンタナ大学への留学

### 【留学で花開く将来】

留学により、英語力の向上はもちろんのこと、世界に目が開け、あなたの将来の可能性が大きくなります。留学で培った英語力を生かし、国際舞台で活躍している先輩が大勢います。来春から日本航空の国際線で活躍される、四年生の徳富さんへのインタビュー記事が、次のページに出ています。ぜひお読みください。

しめるため、裕福な医師や退職者が移り住む町として知られています。

### 【州立のモンタナ大学】



モンタナ大学のキャンパス風景

### 【新しい留学制度】

尚納大学は、モンタナ大学との協定により、新しい語学留学制度(六ヶ月)を来夏より実施します。これまでコミュニケーション・コースの二年生のみが対象でしたが、今後は尚納大学の二年次以上の在学生なら誰でも参加できます。取得した単位は、本学の単位に読み替えられ、休学することなく卒業できます(学年やコースにより必須授業と重なり卒業が延びる場合もあります)。卒業生の参加も考えています。

モンタナ大学のキャンパスは山裾に広がり、緑豊かでゆったりしており、落ち着いて勉学に集中できます。多様な学部・学科があり、教職員も多く、学生数は約一万四千人。尚納大学の学生は、世界の約九十九カ国から集う約五百人の中で、国際色豊かな生活を楽しむことになります。

### 【ロッキー山麓のミズーラ市】

熊本県と姉妹関係にあるモンタナ州は、アメリカ西北部に位置しカナダに国境を接しています。州立のモンタナ大学があるミズーラ市(人口約七万五千人)はロッキー山脈に抱かれた小さな町です。町から車で北西部へ一時間も進めば、氷河を頂く林立した峰が迫ってきますが、大学町ミズーラは四方を緩やかな丘陵に囲まれ、極めて清潔安全で洗練されており、図書館・美術館など文教的な環境がよく整い、国際空港もあります。道行く人のほとんどは白人です。昔は金銀を産出しましたが、今は大学と林業が中心です。町の中心部は、大学に隣接し、徒歩や自転車で十分行動できます。夏は涼風の中で釣・カヌー・冬はスキー・スケートと、四季を通じ風光明媚な大自然の中でスポーツが楽

学内には、マンスフィールド図書館(著名な駐日大使にちなんで)、大学センター(書店・売店・食堂・映画館・娯楽施設等が揃う)、現代的スポーツ施設、スタジアム、学生寮などの施設が完備し、留学生活を送るには申し分ありません。



モンタナ大学の売店(書籍)風景

### 【留学計画】

尚納大学の留学生は、七月下旬に渡米、夏の語学研修特別コース三週間を経て、秋学期(八月下旬~十一月中旬)の正規の能力別英語クラスに出席。成績上位者は一般学生の授業にも一部参加可能。寮のルームメイトはアメリカ人で、希望者にはホームステイも組み入れ可能。ボランティアの会話パートナーが生活や会話のサポートをしてくれます。参加費用は約百円(検討中)。米国内の小旅行代金(約十五万円)が別途必要。小旅行先として、シアトルと氷河またはイエローストーン国立公園、ロスアンジェルスが候補地です。ぜひ参加してください。

### 【留学の成果】

異なる環境の中で生活してみてこそ、日本文化や日本語の本質が再認識できます。また、自己成長が必要なことがあります。また、自

己自身の過去・現在・未来を再確認することで新しい視点で新しい自己の可能性の追求ができるようになります。語学力の向上や異文化理解に加え、これこそ一生の宝となるまたない貴重な発見と経験であり、観光旅行では決して得られません。

人生は「自己発見の旅」と言われますが、多くは「自らの旅」です。この旅は、自分の人生における重要な発見と経験であり、観光旅行では決して得られません。

## 在学生紹介

コミュニケーションコース  
四年生 德富希予さん  
日本航空グループ  
ジャルウエイズ採用内定



Q 客室乗務員はあこがれの職業?  
実は、小さい頃からピアノを習っていたので、幼稚園の先生になると夢でした。ピアノが訪れたのは、高い才能で「一ヶ月間ホールムステイを体験した」とことで、世界観がすっかり変わってしまいました。さざなまな生き方があることを発見したのです。

Q 尚納大学で学ぶ決めたのは?  
将来、たくさんの選択肢の中から職業を選ぶとしたら、広く知識を身につける必要があると感じたことと留学がカリヨン。

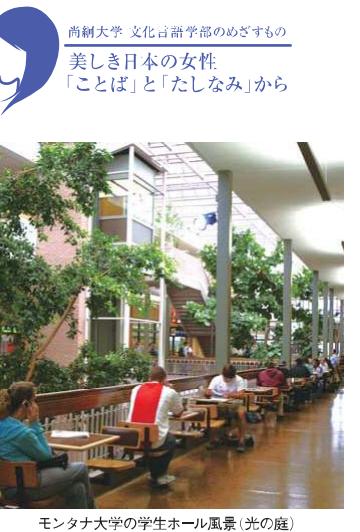
少人数制で先生との距離が非常に近く尚納大学は、安心して勉強できる居心地の良さがあります。先生と一緒にすることに molto と積極的であるべきでしょう。先生の思いは、留学して更に強くなりました。

Q 留学得るもの?  
先生やホストファミリー、yaml メイドなど、たくさんの人々との忘れられない出会いから、本当に多くのことを学びました。受け身の授業ではなく、先生と一緒に授業を作り上げる面白さと同時に、もう一度英語を基礎から学び直したいと思いつづけの衝撃を受けました。

Q 留学のアドバイスを最後の抱負?  
留学がカタリコムの中に組み込まれていることが、何よりも魅力です。

少人数制で先生との距離が非常に近く尚納大学は、安心して勉強できる居心地の良さがあります。先生と一緒にすることに molto と積極的であるべきでしょう。先生の思いは、留学して更に強くなりました。

Q 留学のアドバイスを最後の抱負?  
私は、現在、病院と幼稚園で週一回ずつボランティア活動をしています。このボランティア活動やアルバイト先、そして日本とアメリカの大学で出会ったすべての人々が、今まで助けてくれてきました。五年後、十年後の自分が想像を絶するほど成長していることをお勧めします。私も、これからもそういう生き方を続けて行きたいと思います。



尚納大学 文化言語学部のめざすもの  
美しい日本の女性  
「ことば」と「たしなみ」から

異文化体験が自分を変える。

## 韓国との異文化体験・交流を通じた日本文化とあなたの自身の再発見を！

文化言語学部文化言語学科

助教授 中川明夫



日本と韓国（朝鮮半島）は、平安時代以前までは人・物的に大きな影響をうけ合っていました。現在では両国で「日流」「韓流」「ブーム」が起こり、さまざまな文化交流が盛んになりました。熊本にも沢山の韓国人が訪れています。

尚総大学にも韓国から大学生が訪れることが多くなり、本学の学生が一人、ムスティや観光案内のサポートをしたり、韓国語の授業と一緒にするなど、「日韓親善交流」を楽しく有意義に行ってきました。今年の五月と七月にはソウルで観光日本語通訳学を専攻している大学生が本学を訪れました。お互いに文化交流する中で、ほとんどの学生が「今まで学校で学べなかつたことが実体験を通して分かってきた」「初めて心配したこと、すぐに友達になれた」「自分の文化をもっと伝えたかった」と、語ついていました。また、早速、日本語や韓国語でメールのやり取りをしている学生も少なくあります。この姿に接して、異文化の文化を体験する学生も少なくありません。

尚総大学の学生の中には、市主催の韓国体验旅行に参加したり、個人で韓国の知人の家にホームステイしたりして、大学で習った韓国語を使いつつ、韓国語でメールのやり取りをしている学生もいます。こういった姿に接して、異文化とは実際に身近で体験し、その国の人達と交流して初めて理解できるものだと改めて実感させられました。

韓国体验旅行に参加したり、個人で韓国の知人の家にホームステイしたりして、大学で習った韓国語を使いつつ、韓国語でメールのやり取りをしている学生もいます。こういった姿に接して、異文化とは実際に身近で体験し、その国の人達と交流して初めて理解できるものだと改めて実感させられました。

日本語コース三年のAさんは、夏休みを利用して韓国でホームステイしたりして、韓国での生活を通じて一番驚いたのは、自上の人を敬う佛教の精神が生活に今も息づいていることだったそうです。

尚総大学の学生の中には、市主催の韓国体验旅行に参加したり、個人で韓国の知人の家にホームステイしたりして、大学で習った韓国語を使いつつ、韓国語でメールのやり取りをしている学生も少なくあります。この姿に接して、異文化を体験する学生も少なくあります。日本語コース三年のAさんは、夏休みを利用して韓国でホームステイしたりして、韓国での生活を通じて一番驚いたのは、自上の人を敬う佛教の精神が生活に今も息づいていることだったそうです。

日本と韓国（朝鮮半島）は、平安時代以前までは人・物的に大きな影響をうけ合っていました。現在では両国で「日流」「韓流」「ブーム」が起こり、さまざま

日本と韓国（朝鮮半島）は、平安時代以前までは人・物的に大きな影響をうけ合っていました。現在では両国で「日流」「韓流」「ブーム」が起こり、さまざま

## 「中国書の旅」

文化言語学部文化言語学科書道コース  
助教授 伊織洋一

## 書を通じた日中交流

文化言語学部文化言語学科  
講師 和田美穂

書道コースは例年三年生を対象として「中国書の旅」を実施してきました。た

だ今年は新しい試みとして中国の大

学、北京市の首都師範大学の二大学への

訪問が実現しました。

お互いに初めての書道交流のため戸

君も南開大学での晩餐会中における筆

談をえられた楽しい交流や、首都師範大

学の院生の熟達した技法を見ることが

できましたことは誠に喜ばしいこと

と思つております。また両大学には博

物館があり、解説を聞きながらの鑑賞

や、南開大学では朱先生の講義の受講、

さらに首都師範大学では中国でトップ

クラスの欧阳中石先生の作品制作が偶

然見でき、大変有意義でした。学生諸

ともあれお互いに学ぶところが多く、好印象を得ることがで

きました。これを機に相互交流を深めると共に「書の旅」をより充実した有意義な体験的研修にしたいと考えています。

## 尚総大学 文化言語学部カリキュラム

### ■専門教育

日本コース	書道コース	米英コース	英語コミュニケーションコース	全コース共通	黒: 各コースの基本科目	
					■各コースの特色のある科目	■幅広い学習を促すための多彩な科目
1年次	専門教育	専門教育	専門教育	専門教育	■教養教育	■教養教育
2年次	専門教育	専門教育	専門教育	専門教育	■教養教育	■教養教育
3年次	専門教育	専門教育	専門教育	専門教育	■教養教育	■教養教育
4年次	専門教育	専門教育	専門教育	専門教育	■教養教育	■教養教育

【専門教育】日本の文化やことはその源流から併せ直し、「美しくかつたしなみ」をもって運用できる素地をつくり、日本の書・文学といった分野における、中国・韓国をはじめとした東アジアとの接点を探り、実践的に日本の美しい「ことば」と「たしなみ」を発信していきます。一方、アメリカを中心とした英語圏の言語・文化を咀嚼し、留学や実習形式の言語活動を通して幅広く発信していきます。

【教養教育】美しい日本の「ことば」と文化の「たしなみ」を充実していくために、基礎的な学力、とくに、論理・技術・表現力を、4年間を通して着実に実践的に学んでいきます。また、尚総大学の教育理念に基づき、「たしなみ」をもった女性としての昂扬と素養を育っています。



美しい日本の女性  
「ことば」と「たしなみ」から



ともあれお互いに学ぶところが多く、好印象を得ることがで

きました。これを機に相互交流を深めると共に「書の旅」をより充実した有意義な体験的研修にしたいと考えています。

ともあれお互いに学ぶところが多く、好印象を得ることがで

きました。これを機に相互交流を深めると共に「書の旅」をより充実した有意義な体験的研修にしたいと考えています。

ともあれお互いに学ぶところが多く、好印象を得ることがで

きました。これを機に相互交流を深めると共に「書の旅」をより充実した有意義な体験的研修にしたいと考えています。

# 国際交流

「冬のソナタ」に出演されたイ・ヘウンさんが来校



尚絅大学で韓国語の授業

チエジュの親友(チンスク)役で「冬のソナタ」に出演されたイ・ヘウンさんが、10月10日(火曜)に、尚絅大学で韓国語の授業を行われました。授業の後、学生たちと懇談会や写真撮影が行われ、なごやかですばらしい国際交流になりました。

イ・ヘウンさんは人気感激され、また訪問したいとおしゃっていました。実は、彼女は当日午後、熊本市観光大使に任命されました。

## 韓国蔚山(ウルサン)市の小・中・高生との交流

今年の5月5日に、尚絅高校の皆さんのが蔚山市で演奏して下さったマンドリンの音色は、本当にすばらしいものでした。このことは、韓国のメディアでも紹介され絶賛されました。そして、この夏今度は私たちが尚絅高校を訪問できたことは大変うれしいできごとでした。

交流会では、皆さんのマンドリンの演奏はもちろんのこと、江原中学校のプラスバンドの演奏や帶山中学校の合唱など、たくさんの心のこもった歓迎をして下さいありがとうございました。

韓国の子供達にとっても、このことは貴重な体験となりました。「大きくなったら尚絅高校に留学したい」と夢を語ってくれた子供もいます。

校長先生はじめ、先生方のご親切、又若い中お力添えをいただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

美しいマンドリンの音色のように、これからも韓国と日本の子供達の友情が響きあうことを、心から願っております。ありがとうございます。

2006.8.20

蔚山韓日文化交流協会会长 李仁子

## PROFILE

名前	李慧殷 [Lee Hye Eun (イ・ヘウン)]
生年月日	1973年5月23日
出身地	韓国蔚山道仁川市豊平区
居住地	ソウル特別市江南区
学歴	中央大学校演劇学科→同大学院映画科(修士課程修了)
結婚	既婚(2002年)
血液型	A
特技	マラソン(フルマラソン完走9回)
趣味	演劇・映画鑑賞、ヨーガ、韓国弓、料理(韓国料理)、エッセイを書くことなど
デビュー	映画「コルセット」(1996)
テレビ出演	<ドラマ> 愛しています。あなたを(MBC) 天使の憤怒(SBS) 冬のソナタ(KBS) ベスト劇場(KBS) 愛と憎しみも(SBS、12月より放送)など多数 <ショーケン組の司会・進行> クワイズ映画探検(MBC、96~97) 感性マガジンー幸せいっぱいの午後(KBS、06)など多数 <バラエティ> コルセット(96) 音い門(97) 情け容赦無し(98) 春香伝(00、カンヌ映画祭監督賞) おかあさん(05) 夏物語(07、1月に日本で上映予定、主演イ・ビョンホン) 白雪姫を愛した小人(01~05)など多数 ソウル世界女性映画祭(05) その他の映画祭での開幕式・閉会式での司会など <第17回釜山映画祭 新人女優賞(96) 映画評論家協会 新人女優賞(96)
映画	
演劇	
司会	
受賞歴	



尚絅中学講堂での交歓会

平成18年度 尚絅公開講座  
SHOKEI OPEN LECTURE

# 人間探求 食と生活

## 講座について

社会貢献事業の一つとして平成2年に「尚絅公開講座」を開始。受講希望者の期待にもっと応えたいと、昨年度の講座終了後、公開講座委員会で、内容を検討してきました。その結果、現代の人々が抱えるさまざまな難問題を克服するためにも、これからの人間はいかにして生きていべきかを改めて聞い直すという意味を込め、当面のメインテーマに「人間探求」を掲げることになりました。平成18年度のサブテーマは「食と生活」。これからの私達の生き方について、さまざまな視点から一緒に考える講座が8月に開かれました。



尚絅大学生活科学部教授 坂田 敦子

## ○開催日時と講座内容

	A (9:30 ~ 11:00)	B (11:10 ~ 12:40)
8/21 月曜	食の科学と補助食品 <b>「食を科学する」</b> 尚絅大学生活科学部教授 坂田 敦子	食の科学と補助食品 <b>「補助食品の功罪」</b> 尚絅大学生活科学部教授 坂田 敦子
8/22 火曜	家庭における栄養管理 <b>「偏りのない献立」</b> 尚絅大学短期大学部食物栄養学科教授 坂本 美代子	家庭における栄養管理 <b>「生活習慣病予防の食事と運動」</b> 尚絅大学短期大学部食物栄養学科教授 坂本 美代子
8/23 水曜	乳児と幼児の保健と食（Ⅰ） <b>「望ましい離乳食」</b> 尚絅大学生活科学部講師 大澤 清美	乳児と幼児の保健と食（Ⅰ） <b>「幼児期の食管理」</b> 尚絅大学生活科学部講師 大澤 清美
8/24 木曜	乳児と幼児の保健と食（Ⅱ） <b>「乳幼児の病気」</b> 尚絅大学生活科学部教授 西山 宗六	乳児と幼児の保健と食（Ⅱ） <b>「家庭でできる乳幼児の健康管理」</b> 尚絅大学生活科学部教授 西山 宗六
8/25 金曜	健全な家庭経済とこれからの住環境 <b>「上手な家計の資産運用」</b> 尚絅大学短期大学部総合生活科学教授 大羽 宏一	健全な家庭経済とこれからの住環境 <b>「人にやさしい住居と住環境」</b> 尚絅大学短期大学部総合生活科学教授 佐藤 圭一
8/26 土曜	食料・エネルギー・環境の課題 <b>「将来の食料・エネルギー・環境を考案する」</b> 尚絅大学・短期大学部学長 江口 吾朗	全講座を通じての <b>総合的な質疑応答</b> 講師全員出席

九品寺キャンパス大学1号館 (新校舎)10階ホール 熊本市九品寺2丁目6番76号

# 平成17年度 決算報告

学校法人尚絅学園の平成17年度事業報告及び決算は、5月26日開催の評議員会ならびに理事会において承認されました。ここに、事業報告書と計算書類を掲載し、その概要を説明いたします。

## 事業報告書

### 1. 平成17年度事業の概要について

○平成17年度は、常態となった大学文学部及び短期大学教科改修並びに中学校の入学定員割れに加え、厳しい状況の中で從来比較的安定した生徒数を受け入れてきた高等学校までもが定員割れとなり、学生生徒等納付金が15億円を割り込み、人件費依存率が99.1%（注①参照）となる等憂慮すべき財務状況になった。しかしながら、自己資金投入による施設建設のため消費収支差額で約10億8千万円と大幅な支出超過となつたものの年度の帰属収支差額において約7千5百万円の黒字を計上し得たことは、支出抑制に一定の効果があつたものと考えることができます。

また、本年度は、将来への展望を聞く半業として未來の懸念であった尚絅大学に生活科学部栄養学科（人文定員70名）を設置すること並びに大学文学部・短期大学教科改修の認可申請に注力すると同時に新学部のための校舎建設工事及び守衛室の改築を含む外構の整備工事を行うなど本学園にとっては学園運営上、また財務上においても一大事業を展開する年度になった。学生数の減少による止めをかけ、人学を中心とした学園の将来像を描く上においても有効かつ即効的な施策と思われる。今後、新設学部及び改組した学科が漸進的に学生募集に寄与することが期待されるところであります。

（注①）人件費依存率＝人件費／学生生徒等納付金 平成17年度に学生定員が充足されている場合は、学生生徒納付金收入は1,827,980千円となり、人件費依存率は、79.8%となる。

○大学文化言語学部の大なる定員割れは当初から想定されていた。それは、文学部の改修が実質的には変更更正と学部2学科体制1学科体制にするに止まり、内容を質的に向上させ、特色を發揮させるまでには至らなかったこと、改組に際して採用した中国語と同文化、韓国語と同文化を担当する教員、英語系教員及び書道教員の資質等について充分なPRができなかつたことに大きな要因がある。

○人件費が想定の範囲内ではあるとはい退職金の増加を主要因に前年比約1億2千万円の増加となつたが、教育研究経費等支出面では支出抑制策が奏功したため、経常的な収支では、一堅黙調に推移し、予備費からの支出執行を行うこともなかつた。そのため、教育研究費及び管理経費については財務上、重大な影響を及ぼすであろう特筆すべき当業はなかつた。しかしながら、教育研究経費の圧縮を強いられる状況は、教育研究機関としては、致命的な弱点であり、今後より一層の改革を推進し、特色に満ちた学園とすることで学生の確保に努めることが肝要である。

○新校舎（大学九品寺1号館）の事業費総額は、外構整備等の開通経費を含めて約15億円（注②参照）で建物、構築物、諸経費等それぞの勘定科目に分散して計上している。会計上、特筆すべきは、建築資金が、自己資金（支払資金及び施設設備資金）によつたため、学校法人会計基準による財務計算上、消費収支計算書においては建築費のほか

が基本金組入額となり最終的に消費支出超過額が約10億8千万円となったことである。建設工事費の達成を自己資金によるか借入金によるかの判断については公認会計士による相談などした結果、実勢の預金金利及び将来的な金利の動向等からみて自己資金による方が得策であるとの判断にとづくものである。

（注②）工事費総額約15億円の内訳

①本体建設工事費 1,142百万円 ②基本設計費及び工事監理費 25百万円 ③音響関係他備品工事 76百万円 ④実験実習関係他備品工事 131百万円 ⑤改修解体工事費 47百万円 ⑥守衛室新築費 23百万円 ⑦外構工事費 53百万円 ⑧植栽移転他経費 11百万円（計 1,505百万円）

○人事面において17年度は、4月の大学新学部（生活科学部）の設置及び短期大学教科改修の短大部統合生活学科への改組を視野に入事採用活動を行い、IT教育担当の教員を採用するなど公募等の手段を併用しながら予定される教育カリキュラムに適応した教員採用をおこなった。

また、事務職員の採用についても新学部を含む大学・短期大学部の仕事を巧みならしめるため大学事務の経験豊かな職員の採用に向け採用活動を行い、一定の成果を得るところとなつた。なお、大学・短大の教員採用に当つては、任期制を採用することとした。また、人事給与制度の欠陥を補うため人事制度委員会を組織し、答申を得るなど一定の進展をみることができたが、答申内容を検討し、実施するには平成18年度以降となる。

### 1.決算

学校法人は文部省令（第18号）による「学校法人会計基準」に従つて会計処理を行つています。平成17年度決算について同基準に定められている「消費収支計算書」、「資金収支計算書」、「貸借対照表」の内訳概要を公開いたします。

#### ・消費収支計算書

この計算書類は経営の状況を表すものです。学園全体での消費収入合計は10億2552万円ですが、この額は専属収入合計21億8243万円から自己資金で取得した資産等に対する基本金組入額11億5691万円を差し引いたものです。一方、消費支出は学園合計で21億7099万円となりました。九品寺1号館を自己資金により建築したことで多額の基本金組入額が発生したため、当年度の消費収支の差は10億8157万円の支出超過になりました。

#### ・資金収支計算書

この計算書類は当年度の収入支出の他に、次年度以降の収入や支出を含めたあらゆる収支を網羅しているもので、学園全体での収支総額は12億2737万円となっています。なお、次年度繰越支払資金は7億1946万円となりました。

#### ・貸借対照表

この表は期末における学園の財政状態を表しています。学園全体での資産の部合計は12億150万円となり、前年度との比較で1億151万円増加いたしました。負債の部合計は19億4563万円となり、前年度との比較で2617万円増加いたしました。

### （3）主なキャンパス設施整備計画の状況

## 尚絅学園史



尚絅高校には、嘗て「尚絅」の文字が刻まれた木額と墨蹟の二つの額が掲げられていました。  
平成七年四月、尚絅中学校が復活しました。その時に、昭和六年に昭和天皇が本校に行幸されたことを記念して、五階建ての校舎が新築されました。その前年に、笠美雄堂務理事から山川正邦教諭と筆者に新生尚絅中学校の建物に相応しい書画が高校にないかと問

## 二つの「尚絅」の額（前）

い合わせがありました。書は、故徳川桂家教諭にお願いをしました。絵画は、山川教諭と筆者が相談して、宇野千重氏の「開かずの門」（体育館に安置）、真道黎明氏の「蘭」（校史資料室保管）を貸出することになりました。これらの作品は、第五代光島貞正校長（初代理事長、尚絅短期大学創立者で初代学長）が生徒の情操を育てる意味から蒐集したものでした。さて、これに加えて、校史資料室で保管していた「尚絅」の木額を中学校校長室前に架設することになりました。



この木額の文字は、桂洲道倫（一七八九年四四年）の書いたものです。

彼は、夢窓疎石が開いた京都嵯峨にある臨宗天龍寺の第二百二十一代の住持でした。彼の生きた時代は、江戸幕府八代将軍徳川吉宗の享保の改革、老中松平定信の寛政の改革などが行なわれ、幕府の転換期でした。ではなぜ桂洲道倫の書いた木額が本校にあるのでしょうか。

ここに高田露といふ人物が登場します。高田は、中松平定信の代に休暇を利用して対馬で捕鯨を愉んでいたときに、偶然見つけたのが本影の「尚絅」という額でした。当時は、丁度尚絅女学校創立の頃で、姫の水屋つる子さん（明治・十八年卒）が尚絅校に在校していました。高田は、この額を持ち帰り、水屋さんに、「あんたの学校に丁度ええんば見つけたのだが」と言いました。

水屋さんは、「おお、内藤校長へ贈りなれば」と喜びながら手渡しました。内藤さんは、叔父高田郎先生の喜びがなはるばい」と喜んでいました。それで、水屋さんは、叔父高田

の意を受けて、内藤校長への贈り物の重い額を抱えて、白坪町から人力車に乗りつて学校へ行きました。そして、高田の話を内藤校長へ伝えて、この木額を寄贈しました。内藤校長はすぐにこれを正面玄関に掲げました。熊本県は

したあと、帰郷し、横木学校で民謡思惟を学びました。十（一八七七）年に西郷戦争では協同隊を組織して、櫻道役つまり西郷軍の道案内役を務め、ともに戦いました。同年八月、官軍に下り、投獄懲罰されましたが、三年で特赦にあづかり、釈放されました。蛇足ですが高田は、民謡「田原坂」で歌われた一馬りゆたかな美少年のモデルの人にはまだ佐々と王義を同じくす。内藤は、また佐々と王義を同じくしてしまった。高田はと言えば、これは改進党の重鎮でした。しかし、私人として、このよう交流があったのです。この後「尚絅」の木額はいつも、正面の玄関に掲げられ、幾多の教職員、同窓生がこれを見たものでした。

（3）主なキャンパス設施整備計画の状況

(注記)  
 1.重要な会計方針  
 (1)引当金の計上基準  
 退職給与引当金  
 ... 退職金の支給に備えるため、大学、短大の教職員については期末支給額 454,447,800円を基にして。  
 私立大学退職金財團に対する積立金の累積額と交付金の累積額との線入調整額を加減した金額の100%を計上している。  
 また、高校、中学、幼稚園の教職員については期末支給額 307,282,788円から私立大学退職金財團よりの交付金相当額を控除した金額の100%を計上している。

(2)その他の重要な会計方針  
 有価証券の評価基準及び評価方法  
 ... 滞期保有目的の有価証券の評価方法は、償却原価法である。  
 所有権移転外ファイナンス・リース取引の処理方法  
 ... リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。  
 預り金その他の経過損益に係る収支の表示方法  
 ... 預り金に係る収入と支出は相殺して表示している。  
 食堂等の他教育活動に付随する活動費に係る収支の表示方法  
 ... 助助活動に係る支支は純額で表示している。

2.重要な会計方針の変更等  
 「学年会計基準」(文部省令第18号)の改正に伴い、当会計年度から改正後の基準によっている。なお、この変更により、従来と同一の方法によった場合と比較して  
 基本組入額が297,025,198円減少し当年度消費支出超過額が同額減少している。また、基本金取崩額が 360,521,105円増加している。  
 基本組入額 3,305,360,124円  
 3.減価償却額の会計額 0円  
 4.徴収不能引当金の合計額 0円  
 5.担保に供されている資産の種類及び額  
 担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。  
 土地 470,188,799円

6.翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行なうこととなる金額 792,990,908円  
 7.その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

## (1)有価証券の時価情報

	当年度(平成18年3月31日)		
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	270,000,000	271,576,000	1,576,000
(うち滞期保有目的の債券)	(270,000,000)	(271,576,000)	(1,576,000)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	1,470,607,435	1,458,568,268	-12,039,167
(うち滞期保有目的の債券)	(989,969,167)	(977,930,000)	(-12,039,167)
合 計	1,740,607,435	1,730,144,268	-10,463,167
(うち滞期保有目的の債券)	(1,259,969,167)	(1,249,506,000)	(-10,463,167)

注 滞期保有目的以外の有価証券は逆戻資産の区分に記載されている有価証券 480,638,268円が全てであり、その内容はマネーマネジメント・ファンである。

(2)デリバティブ取引なし  
 (3)学校法人による会社に係る事項

当学校法人の出資割合が総出資額の50%以上である会社の状況は次のとおりである。  
 □会社名及び事業内容 株式会社尚創サポートセンター

食堂、飲食店の経営並びに其の経営の委託他

2.資本金の額 20,000千円 400株

3.学校法人の出資額及び当該会社の株式等に占める割合並びに当該株式等の入手日 平成18年3月27日 19,000千円 380株  
 4.当社中に学校法人が当該会社から受入れた賃貸及び利回りの金額及びその他の取引の額 0円

5.当該会社の責務に係る債務保証 学校法人は当該会社について債務保証を行っていない。

(4)主たる賃貸建設計・販売 なし

(5)偶発業務 なし

(6)所有権移転外ファイナンス・リース取引

通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引は次のとおりである。  
 リース資産の種類 リース料総額 未超過リース料期末残高

教育研究用機器備品 52,335,990円 37,686,894円  
 その他の機器備品 1,121,040円 483,000円

(7)純額で表示した補助活動に係る収支

純額で表示した補助活動に係る収支の相殺した科目及び金額は次のとおりである。

## 資金収支計算書

補助活動の種類	支出	金額	収入	金額	純額
寄宿舎	人件費支出	12,453,291	事業収入	30,772,000	
	管理経費支出	28,664,708	雄収入	496,186	
	借入金等利息支出	7,399,832			
預り保育	寄宿舎支出計	48,717,831	寄宿舎収入計	31,268,186	-17,449,645
	人件費支出	1,216,880	預り保育料収入	385,000	
	管理経費支出	43,126			
	預り保育支出計	1,260,006		385,000	-875,006
		49,977,837		31,653,186	-18,324,651

## 消費収支計算書

補助活動の種類	支出	金額	収入	金額	純額
寄宿舎	人件費支出	12,453,291	事業収入	30,772,000	
	管理経費支出	62,990,456	雄収入	496,186	
	借入金等利息支出	7,399,832			
預り保育	寄宿舎支出計	82,845,579	寄宿舎収入計	31,268,186	-51,575,393
	人件費支出	1,216,880	預り保育料収入	385,000	
	管理経費支出	43,126			
	預り保育支出計	1,260,006		385,000	-875,006
		84,103,585		31,653,186	-52,450,399

注 消費収支計算書の寄宿舎管理経費には、減価償却費 34,125,748円を含んでいる。

(8)関連当事者との取引なし

(9)後発事象なし

## 平成17年度決算報告書

## 消費収支計算書 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

## 消費収入の部

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,494,771	1,471,559	23,211
手数料	31,080	35,472	-4,392
寄付金	4,700	8,498	-3,798
補助金	413,200	491,760	-78,560
資産運用収入	18,370	19,542	-1,172
事業収入	200	192	8
雑収入	151,350	155,412	-4,062
総 収 入 合 計	2,113,671	2,182,438	-68,767
基本金組入額合計	-1,395,560	-1,156,911	-238,648
消費収入の部合計	718,111	1,025,527	-307,416

## 資金収支計算書 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

## 収入の部

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,494,771	1,471,559	23,211
手数料収入	31,080	35,472	-4,392
寄付金収入	4,700	7,300	-2,600
補助金収入	413,200	491,760	-78,560
資産運用収入	18,370	19,533	-1,163
事業収入	200	192	8
雑収入	151,350	154,210	-2,860
前受金収入	400,000	463,794	-63,794
その他の収入	1,561,680	1,571,638	-9,958
資金収入調整勘定	-445,584	-558,142	112,558
前年度繰越支払資金	570,055	570,055	-
収入の部合計	4,199,823	4,227,373	-27,550

## 貸借対照表 (平成18年3月31日)

## 資産の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	11,248,745	11,347,648	-98,903
有形固定資産	6,731,185	5,444,451	1,286,733
土地	1,038,745	1,038,745	0
建物	4,463,415	3,315,830	1,147,585
構築物	177,080	129,836	47,244
教育研究用機器備品	264,625	178,463	86,161
その他の機器備品	20,569	25,544	-4,974
図書	766,748	751,202	15,546
建設仮勘定	0	4,830	-4,830
その他の固定資産	4,517,560	5,903,196	-1,385,636
借地権	300	300	0
敷金	132	132	0
電話加入権	2,484	2,484	0
施設利用権	371	411	-39
共同研究設備利用権	5,775	0	5,775
出資金	27,906	8,906	19,000
長期貸付金	7,952	16,323	-8,370
退職給与引当特定預金	550,017	550,017	0
減価償却引当特定資産	3,200,109	3,200,109	0
施設設備引当特定資産	559,969	1,965,970	-1,406,001
第3号基本金引当資産	162,542	158,542	4,000
流動資産	1,352,757	1,152,338	200,419
現金預金	719,465	570,055	149,409
未収入金	152,558	101,642	50,915
有価証券	480,638	480,602	36
仮払金	95	37	57
資産の部合計	12,601,503	12,499,987	101,515

## 負債の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
人件費支	1,409,981	1,458,070	-48,089
教育研究経費	560,353	467,088	93,264
管理経費	149,814	141,228	8,585
借入金等利息	27,567	27,564	2
資産処分差額	0	13,145	-13,145
予備費	20,000	—	20,000
消費支出の部合計	2,167,715	2,107,097	60,617
当年度消費支出超過額	1,449,604	1,081,570	
前年度繰越消費支出超過額	1,819,660	1,819,660	
基本金取崩額	0	360,521	
翌年度繰越消費收入超過額	370,055	1,098,610	

単位:千円(千円未満切捨)

単位:千円(千円未満切捨)

単位:千円(千円未満切捨)

単位:千円(千円未満切捨)

単位:千円(千円未満切捨)

単位:千円(千円未満切捨)

単位:千円(千円未満切捨)

# 監査報告書

学校法人尚絅学園

理事長 江口吉朗 様

学校法人尚絅学園の平成十七年度～平成十八年度の監査結果について、その結果次のとおり報告する。

## 1 監査の方法の概要

- (1) 理事会監査のため、理事会等への出席、理事及び業務執行部門からの業務の報告の聽取を検討した。
- (2) 財産状況の監査のため、公認会計士島村研理氏から私立学校振興助成法第十四条第三項の規定に基づく監査の説明及び報告書類の閲覧、その他必要と認めめた方法を用いて業務執行の妥当性を検討した。

## 2 監査意見

- (1) 業務執行は、法令及び寄付行為に従い適法に行われており、指摘すべき不整の事実はない」と認める。
- (2) 事業報告書は正確であり、学校法人の認める事業の内容を正しく示しているものと認められる。
- (3) 財産目録は、法令及び寄付行為に従い當法人の財産の状況を正しく示しているものと認められる。
- (4) 公認会計士島村研理氏の監査の方法及び結果は相当であり、資金収支計算書・人件費支出内訳表を含むこと及び消費収支計算書・貸借対照表・固定資産明細表・借入金明細表・基本金明細表などを含むは学校法人会計基準(昭和四十六年文部省令第十八号)に準拠し、当法人の財政状態並びに経営状況を正しく示しているものと認める。

平成十八年五月十八日

監事 野村 隆司 印

# 平成18年度予算書

消費収支予算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

単位:千円 (千円未満切捨)

## 消費収入の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金	1,475,450	1,494,771	-19,321
手 数 料	30,730	31,080	-350
寄 付 金	4,300	4,700	-400
補 助 金	404,000	413,200	-9,200
資 産 運 用 収 入	15,900	18,370	-2,470
事 業 収 入	200	200	0
雑 収 入	115,240	151,350	-36,110
帰 属 収 入 合 計	2,045,820	2,113,671	-67,851
基 本 金 組 入 額 合 計	-73,233	-1,395,560	1,322,327
消 費 収 入 の 部 合 計	1,972,587	718,111	1,254,476

## 消費支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
人 件 費	1,499,984	1,409,981	90,003
教 育 研 究 経 費	651,598	560,353	91,245
管 理 経 費	144,828	149,814	-4,986
借 入 金 等 利 息	21,403	27,567	-6,164
資 産 処 分 差 額	14,030	0	14,030
予 備 費	20,000	20,000	0
消 費 支 出 の 部 合 計	2,351,843	2,167,715	184,128
当 年 度 消 費 支 出 超 過 額	379,256	1,449,604	
前 年 度 繰 越 消 費 収 入 超 過 額	1,098,610	1,819,660	
翌 年 度 繰 越 消 費 収 入 超 過 額	719,354	370,055	

資金収支予算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

単位:千円 (千円未満切捨)

## 収入の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金収入	1,475,450	1,494,771	-19,321
手 数 料 収 入	30,730	31,080	-350
寄 付 金 収 入	4,300	4,700	-400
補 助 金 収 入	404,000	413,200	-9,200
資 産 運 用 収 入	15,900	18,370	-2,470
事 業 収 入	200	200	0
雑 収 入	115,240	151,350	-36,110
前 受 金 収 入	400,000	400,000	0
そ の 他 の 収 入	197,153	1,561,680	-1,364,527
資 金 収 入 調 整 勘 定	-503,794	-445,584	-58,209
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	719,465	570,055	149,409
収 入 の 部 合 計	2,858,645	4,199,823	-1,341,177

## 支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
人 件 費 支 出	1,541,439	1,485,352	56,087
教 育 研 究 絏 費 支 出	444,168	383,553	60,615
管 理 経 費 支 出	109,268	106,505	2,763
借 入 金 等 利 息 支 出	21,403	27,567	-6,164
借 入 金 等 収 潟 支 出	111,231	138,981	-27,750
施 設 関 係 支 出	9,400	1,341,827	-1,332,427
設 備 関 係 支 出	43,660	165,963	-122,303
資 産 運 用 支 出	4,000	23,000	-19,000
そ の 他 の 支 出	234,282	130,028	104,254
予 備 費	20,000	20,000	0
資 金 支 出 調 整 勘 定	-25,000	-25,000	0
次 年 度 繰 越 支 払 資 金	344,793	402,047	-57,253
支 出 の 部 合 計	2,858,645	4,199,823	-1,341,177

# 平成19年度選考日程のお知らせ

## ◎ 尚絅大学文化言語学部文化言語学科

選考の種類	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期限
推薦(指定校・一般)	平成18年11月1日(水)～11月13日(月)	11月18日(土)	11月28日(火)	12月7日(木)
自己推薦	平成18年11月1日(水)～11月13日(月)	11月18日(土)	11月28日(火)	12月7日(木)
社会人・外国人留学生	平成18年11月1日(水)～11月13日(月)	11月18日(土)	11月28日(火)	12月7日(木)
一般試験(第1回)	平成19年1月9日(火)～1月29日(月)	2月4日(日)	2月9日(金)	2月19日(月)
一般試験(第2回)	平成19年2月20日(火)～3月2日(金)	3月7日(水)	3月13日(火)	3月23日(金)
センター試験(第1回)	平成19年1月9日(火)～2月6日(火)	個別試験は課さない	2月19日(月)	3月1日(木)
センター試験(第2回)	平成19年2月20日(火)～3月15日(木)		3月23日(金)	3月29日(木)

## ◎ 尚絅大学生活科学部栄養学科

選考の種類	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期限
推薦	平成18年11月1日(水)～11月13日(月)	11月18日(土)	11月28日(火)	12月7日(木)
一般試験(第1回)	平成19年1月9日(火)～1月29日(月)	2月4日(日)	2月9日(金)	2月19日(月)
一般試験(第2回)	平成19年2月20日(火)～3月2日(金)	3月7日(水)	3月13日(火)	3月23日(金)
センター試験(第1回)	平成19年1月9日(火)～2月6日(火)	個別試験は課さない	2月19日(月)	3月1日(木)
センター試験(第2回)	平成19年2月20日(火)～3月15日(木)		3月23日(金)	3月29日(木)

## ◎ 尚絅大学短期大学部 総合生活学科・食物栄養学科・幼児教育学科

選考の種類	出願期間	選考日	合格発表	入学手續期限
推薦	平成18年11月1日(水)～11月13日(月)	11月18日(土)	11月28日(火)	12月7日(木)
社会人・外国人留学生	平成18年11月1日(水)～11月13日(月)	11月18日(土)	11月28日(火)	12月7日(木)
一般試験(第1回)	平成19年1月9日(火)～1月29日(月)	2月3日(土)	2月9日(金)	2月19日(月)
一般試験(第2回)	平成19年2月20日(火)～3月2日(金)	3月6日(火)	3月13日(火)	3月23日(金)
センター試験(第1回)	平成19年1月9日(火)～2月6日(火)	個別試験は課さない	2月19日(月)	3月1日(木)
センター試験(第2回)	平成19年2月20日(火)～3月15日(木)		3月23日(金)	3月29日(木)

## ◎ 尚絅大学短期大学部 専攻科 食物栄養専攻

選考の種類	出願期間	選考日	合格発表	入学手續期限
前期試験	平成19年1月9日(火)～1月29日(月)	2月3日(土)	2月9日(金)	2月19日(月)
後期試験	平成19年2月20日(月)～3月2日(金)	3月6日(火)	3月13日(火)	3月23日(金)

【問合せ先】入試センター TEL861-8538 熊本市榆木6-5-1 TEL096-336-8840 FAX096-339-1058

E-mail dinyaishi@shokei-gakuen.ac.jp ホームページアドレス <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/index.html>

## ◎ 尚絅高等学校

選考の種類	出願期間	選考日	合格発表
奨学生	平成19年1月12日(金)～1月17日(水)	1月24日(水)	1月29日(月)
専願生			
一般生	平成19年2月5日(月)～2月13日(火)	2月16日(金)	2月21日(水)

【問合せ先】尚絅高等学校 TEL862-8678 熊本市九品寺2-6-78 TEL096-366-0295 FAX096-372-8341

ホームページアドレス <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/his/index.html>

## ◎ 尚絅中学校

選考の種類	出願期間	選考日	合格発表
特別奨学生(併願可)	平成18年12月4日(月)～12月14日(火)		
専願生			
特技特待生(専願)	平成18年9月11日(月)～12月14日(木)	平成18年12月17日(日)	平成18年12月18日(月)
第2回	特別奨学生(併願可)	平成18年12月19日(火)～平成19年1月11日(木)	平成19年1月13日(土)
特技特待生(専願)			平成19年1月15日(月)
一般生(併願可)			
第3回	特技特待生(専願)	平成19年1月16日(火)～3月15日(木)	平成19年3月17日(土)
専願生			平成19年3月19日(月)

【問合せ先】尚絅中学校 TEL862-8678 熊本市九品寺2-6-78 TEL096-363-2301 FAX096-371-5683

ホームページアドレス <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/h/index.html>